



# 硝子組合ニュース



2026年（第85号）  
令和8年1月9日

TRGK 東京理化学硝子器械工業協同組合 会報  
<https://www.trgk.jp/>

硝子組合ニュース  
TRGK 広報委員会

旧年中は東京理化学硝子器械工業協同組合の活動に、深いご理解と多大なるご支援ご協力を賜りましたこと心より厚く御礼申し上げますとともに、皆様がお健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日本社会に初の女性総理大臣が誕生し、仕事が出来る方を大臣として任命出来、硬直していた日本経済も少しずつ、変わることを期待する機運が出て参りました。中国との関係は、不透明ですがデメリットだけではなく、メリットもあることを認識する次第です。それは物作りにも大きく関わる問題です。レアアースの

硝子組合ニュース

新年明けましておめでとうございます。  
謹んでお祝いを申し上げます。

昨年はN R G K 全国大会を東京支部担当で『スリム＆コンパクト』をテーマに掲げ、会員数減少の中、魅力は失わず交流と勉強の場を作つてまいりました。この内容での開催は、我々にとっては、今後の指針となつたと考えています。また、贊助会員様の紹介を行いました。参加して頂いた皆様、ありがとうございました。

組合員の皆様、事業所スタッフ、また、それぞれのお家族の皆様にとりまして、今年は蹴り脚良く、正月のスタートから良き一年になることを祈念申し上げます。

「検定試験についての実施方法や内容に関して」は、下記のご意見を頂戴しました。①会場（協力して頂け



事、世界の工場としての存在等々です。今年はそれらの事柄が我々にも分かる形になることでしょう。

NRGKでは10月末（10%）で、「その理由（任意回答）」は下記のとおりです。①スキルの基準目標を与えた。②個人のスキルアップには良い機会。③スキルの証明および自己研鑽のため。④従業員のスキルアップ目標のため。⑤スキルアップ目標のため。理化学ガラス器械製作者の全国的な成長のため。⑥加工者が10名（うち1級2名、2級3名）おり、1級以外の方が取得を望んでいる。⑦方には自信にも繋がると思つた。

「受験したい」は6件（10%）で、「その理由（任意回答）」は下記のとおりです。①会場（協力して頂け

## 令和8年 理事長年頭所感

### 工業会だより

理事長 池田 高樹  
東京理化学硝子器械工業  
協同組合

NRGKでは10月末（10%）で、「その理由（任意回答）」は下記のとおりです。①会場（協力して頂け

る事業所）の選定が難しい。②出張試験の場合はスタッフに5～10万円程度の謝礼を渡さないと続かないと思う。③受験者向けに実技、学科の講習を希望する。④実技検定採点基準を見直す。⑤技能検定試験が今後再開しても何回実施できるのか。⑥全国大会でも議題に上がつたが、各支部に試験官が訪問しての実施が望ましい。⑦実技試験内容は、日頃の業務に關係しない製品などしても、ガラス加工の基本工程が含まれる試験内容にすべき。⑧費用に関しても安価に越した事はないが、人数の上限、下限を決めて、それに合わせて一人あたりの費用を少なく調整して実施するのが良いと思ふ。⑨支部単位の議論はまだが、制度が整えば単独の事業所になつたとしても実施したい。⑩会社でのスキル認定としては利用できると思う（スキルを持つていれば手当を付けるなど）。⑪九州地区では旭製作所での実施を考えている。⑫検定試験の実技内容はどの様な製品を対象とするのか。⑬国家検定の際、1級はソクスレー抽出器・冷却器またはボトル、2級は玉入れ器でした。⑭過去に複数回の実技、学科双方の試験



会場は5階『清澄II』  
受付は17時15分～

TRGK新年会  
T R G K・青硝会合同新年会が1月23日（金）に開催されます。

TRGK新年会  
T R G K・青硝会合同新年会が1月23日（金）に開催されます。

会場として使用されております。⑯受験者が少なくなりつてるので、10名程度集まります。⑰受験するなどではどうぞざいました。まれば実施するなどではどうか。⑱技能検定の内容を勉強会の題材にして欲しい。

**電気炉トラブルから見えた機械メンテナンスの大切さ****『当たり前に動く』を守るために**

**現場を支える電気炉**  
ガラス加工の現場では、アーネル工程は最後の仕上げを行う大事な工程です。

そして、それを安定した温度で支えてくれる電気炉は、現場にとつてとても頼れる存在です。

普段はその働きを意識することは少ないものの、昨年、その電気炉のトラブルが続いたことで、設備を「いつも通り」に動かすことの難しさと、メンテナンスの重要性をあらためて感じた出来事がありました。

**続いた設備トラブル**

とある事業所のことです。最初に起きたのは、炉内の空気を循環させるファンモーターの焼き付きでした。交換を行い、これで落ち着くだろうと思つていましたが、ほどなくして同じ症状が再発しました。接触不良の疑いが強まり、二度の交換も行いました。しかし、それでも問題が落ちるという新たな症状が発生されたわけではありませんでした。今度は設定温度に達する前にブレーカー

が現れ、原因を探す日々が続きました。

**見えてきた老朽化**

こうした状況から、ヒータの劣化や断線など、より根本的な部分の不具合が疑われるようになりました。「一つ直したと思えば次の問題が出てくる」という状態で、普段の作業だけでは気づけなかつた設備の疲労が、一度に表面化したようでした。アーネル工程が進まなければ製品の仕上げができなければ、次に行う工程にも影響します。代わりの炉を併用しながら調整を重ね、ようやく使える状態まで戻すにはかなりの時間と労力が必要でした。また、他社の電気炉を使わせていて大切なほど、周りの方々にもご迷惑を掛けてしまいました。

**これから設備管理**

設備が『当たり前に動く』という安心は、丁寧なメンテナンスの積み重ねによってでき、その結果として守られています。安定した稼働が続くことで、現場は落ち着いて作業でき、品質を保つことができます。お客様からの信頼にもつながります。

今回の経験を教訓として、今後も設備との向き合い方を見直し、確実なメンテナンスを続けていくことの重要性を改めて共有していきます。

**11月例会レポート**

今回の一連の出来事は、「壊れてから直す」ではなく、「すみだ産業会館」において、説明会および例会が開催されました。

冒頭では、ハリオサイエンス株式会社（以下、ハリオ）が開催されました。岸田徳行氏より、「ガラス管接点の緩み、断線の予兆な

題とした説明が行われました。ハリオ製ガラス管のこれまでの寸法公差について、競合他社との規格統一を見据え、現在変更に向けた対応を進めているとの説明がありました。また、ハンド製品に携わる職人の技能向上にも力を入れており、要望の多かったカブ型プラスコや試薬瓶をはじめ、これまで廃番となっていたプランク製品についても、復活に向けた動きがあるということです。今後の展開が期待される内容です。



ハリオサイエンス株式会社のホームページやウェブカタログへのQRコード

**忘年会レポート**

12月5日（金）、組合会議室での理事会後、両国駅に隣接する江戸NOREN内にある「根津鶏はな」にて忘年会が開催されました。

シン・大硝会のメンバー5名も加わり、総勢19名が参加しました。理事長の乾杯挨拶後、東京軍鶏の鶏料理を堪能しながら、活発な情報交換も行われ、互いの親睦がさらに深りました。



東京軍鶏の専門店「鶏はな」で行われた忘年会の様子

たことも紹介されました。続いて、休憩を挟んで例会に移り、今後の活動計画や各委員会からの報告が行われ、会は円滑に終了しました。（例会の詳細は3面参照）。

2026年（第85号）  
令和8年1月9日

TRGK 東京理化学硝子器械工業協同組合 会報  
<https://www.trgk.jp/>

硝子組合ニュース  
TRGK 広報委員会



東北大学多元物質研究所前にて

青硝会の10～12月の活動内容は、10月にはすみだガラス市に参加、11月には研修旅行で東北大学を見学、12月には忘年会を開催しました。

10月4～5日には開催されたすみだガラス市では、初日の午後からはあいにくの雨でしたが、翌日は天候に恵まれ、とても暑い中沢山のお客様に足を運んでいただき大盛況でした。

11月7～8日には研修旅行を行い、宮城県仙台市にある東北大多元物資研究所を見学しました。

当日は有限会社仙台石英硝子製作所の佐藤さんによると、エスコートしていただきガラス工場と機械工場を見学しました。

青硝会

12月20日には押上にある「押上つち屋」で忘年会を行いました。当日は美味しい魚料理とお酒を堪能しました。

第45期青硝会の活動も新年会と総会を残すのみとなりましたが、来期も精力的に活動していきたいと思います。



令和7年10月4日5日  
（土・日）錦糸町の長崎橋跡  
イベント広場に於いて『す  
みだガラス市』が開催され  
ました。

今回初めてキッチンカー  
も参加し、たくさんの人で  
賑わいました。

売り上げもかなり良い結  
果となりました。

ガラス市

(佐野)

シン大硝会

シン大硝会は毎年10月に総会を開きますが、全員の日程があわず、昨年は11月の開催になりました。

例年ですと温泉に一泊でとなります。ですが昨年は都内でちょっと豪華な会食に、上野にある鰻の名店「伊豆栄 本店」にて開催。その場で事業報告と会計報告があり、本年度の事業計画について話し合いました。

以降、理事会と合同の忘年会へ参加して令和7年の活動は終了。本年も精力的に活動をして参ります。



| 例会理事会報告          |   |
|------------------|---|
| 令和7年10月24日（金）    | 理事会                                       |
| 技術振興・教育研修委員会     | ・来年度は講習会開催予定。                             |
| 財務・業務委員会         | ・酸素販売量は減少傾向。<br>・その他物販は好調。                |
| 令和7年11月21日（金）    | ・今年度の業績は前年並みの見込み。                         |
| 財務・業務委員会         | ・1月23日新年会を開催。<br>・令和8年第74回全国大会は大阪支部担当。    |
| 令和7年11月21日（金）    | 広報委員会<br>・1月9日広報新聞85号発行予定。                |
| 青硝会              | ・2月通常総会開催。                                |
| 青硝会              | ※技術振興・教育研修委員会、シン大硝会は前月理事会の内容と同様にて割愛。      |
| 令和7年12月5日（金）     | 理事会                                       |
| 財務・業務委員会         | ・酸素販売量が低調。                                |
| 令和7年12月5日（金）     | 財務・業務委員会                                  |
| 令和7年12月5日（金）     | ・4月1日棚卸。                                  |
| 令和7年12月5日（金）     | ・4月10日決算委員会。                              |
| 令和7年12月5日（金）     | 福利厚生・ガラス市実行委員会                            |
| 令和7年12月5日（金）     | ・4月すみだガラス市参加。                             |
| 令和7年12月5日（金）     | 全国委員会                                     |
| 令和7年12月5日（金）     | ・技能検定について。                                |
| 令和7年12月5日（金）     | ・ハンドブック刷新について。                            |
| 令和7年12月5日（金）     | 親睦会開催。                                    |
| 令和7年12月5日（金）     | ・3月28日「千代田カントリークラブ」にてゴルフ                  |
| 令和7年12月5日（金）     | ・第73回全国大会收支報告。                            |
| 令和7年12月5日（金）     | その他                                       |
| 令和7年12月5日（金）     | ・今年度売上高は好調。SP Cジョインントの売り上げが下支え。           |
| 令和7年12月20日忘年会開催。 | 青硝会                                       |
| 令和7年12月20日忘年会開催。 | その他                                       |
| 令和7年12月20日忘年会開催。 | ・関係団体新年会について。                             |
| 令和7年12月20日忘年会開催。 | ※技術振興・教育研修委員会、広報委員会、シン大硝会は前月例会の内容と同様にて割愛。 |



観光を終えた我々は飛行機でヒューストンの乗り継ぎを挟み、漸く最寄りの空港ローリーダーラム空港へ。タクシーで30分ほどで無事会場のホテルに到着しました。

ですが、その前に私のスイッケースと父親の荷物一つがヒューストンに忘れ去られていきました。暫くの間荷物受取所で待機していましたが、明日午後以降の受け取りなら可能との事でホテルへ移動。無事次の日を迎える事が出来、ついにシンポジウムのスタートです。



その後、途中からの参加となりましたがジユニア

加工の「Lightship Neon」へ行かせて頂きました。一通りネオンの説明を聞きまししたが、殆ど理解出来ませんでした。セミナーが始まると、特に自分自身の英語力の低さを実感します。

（橋本陸）

メンバーのセミナーに合流。私は理化学ガラスを始めて5年以内なので、ジユニアメンバーという位置づけになります。



## 第52回ゴルフ親睦会レポート

第52回ゴルフ親睦会が2025年11月1日（土）、潮来カントリークラブで盛大に開催された。秋晴れの好条件のもと、20名もの参加者が和やかな雰囲気で熱戦を繰り広げた。

### 大接戦のベストグロス賞

激戦を制して優勝を飾ったのは内藤博光氏（野中理化器製作所）。安定したショットと堅実なプレーが光った。

ベストグロスは酒井総一郎氏（旧酒井理化）、齋藤義徳氏（鎌田理化学器械製作所）、古川雄次氏（古川理工）の3名が同スコアで並ぶ大接戦となつたが、規定による年齢差で古川氏に軍配が上がった。

### 次回開催地が決定

参加者同士の交流も深まり、笑顔溢れる一日となった第52回大会は終わりを告げたが、やる気漲る実行委員会は次回開催を早くも決定。第53回ゴルフ親睦会は2026年3月28日（土）千代田カントリークラブにて開催されます。皆様のご参加お待ちしております。



メンバーのセミナーに合流。私は理化学ガラスを始めて5年以内なので、ジユニアメンバーという位置づけになります。（橋本陸）

### これからの行事

|            |             |
|------------|-------------|
| 1月23日（金）   | 組合・青硝会合同新年会 |
| 2月20日（金）   | 第一ホテル両国     |
| 3月13日（金）   | 理事会         |
| 3月28日（土）   | すみだ産業会館     |
| 4月1日（水）    | 棚卸組合事務所     |
| 第53回ゴルフ親睦会 | 千代田カントリークラブ |

### 計報

工藤理化製作所 代表取締役 工藤良三様

生前のご功績を偲び、謹んでお悔やみ申し上げます。